



広報

119

KEICHIKU

2018年3月 85

けいちくこういきげん
京築広域圏消防本部

ドローン導入にむけて!



操縦士養成中です！



有事に備えて
訓練を積んでいます。



8の字飛行や目印に着陸
する訓練をしています。

当消防本部では小型無人機「ドローン」の導入に向けて、ただいま操縦士の養成中です。導入後は、山火事など広範囲にわたる災害が発生した時に、上空から詳しい状況を確認することや、侵入困難な場所での行方不明の方を素早く捜しだす初期手段となるなど、効率的な活用が期待できます。

消防本部の今後の取り組みについて



京築広域圏消防本部
消防長 緒 方 豊

早いもので消防長を拝命し、3年が経過いたしました。この間、地域の皆様が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、全力で取り組んでまいりました。

全国各地で発生する近年の自然災害や火災などにより住民の皆様の安全安心への関心はますます大きくなっていると考えられますので、当本部では、昨年に引き続き次のことを緊急重要課題として取り組んでいく所存です。

【職員の人材育成の取り組み】

ここ数年の大量退職により職員が若返り、消防力の低下が懸念されることから、組織力と併せて個々のスキルアップを目指します。

【警防体制の充実強化】

自然災害の多様化、大規模化に備え、大規模災害時の対応の強化を図ります。

【地域防災力の強化】

国内外で頻発する大規模な自然災害に対応するため、消防団との連携を密にして、我が町は我が手で守るという地域の防災力の強化を図ります。

今後も職員一丸となつて一層尽力してまいりますので、ご理解とご協力を願います。

春の火災予防運動



空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節です。火の元に注意しましょう！

平成29年中（1月～12月）
火災・救急・救助統計

火災件数
39件
前年比：6件増

救急件数
4,079件
前年比：31件減

救助件数
31件
前年比：同件数

	豊前市	吉富町	上毛町	築上町	みやこ町	管外	合計
火災件数	15	1	3	7	13		39
救急件数	1,421	294	326	932	1,102	4	4,079
救助件数	16	2	3	6	4		31

原因及び内容

火災出火原因	火入れ	放火(疑いを含む)	たばこ	ストーブ	電気機器	配線器具
救急出動内容	急病	一般負傷	転院搬送	交通事故		
救助出動内容	交通事故	その他(滑落、遭難)				

火災統計から分析結果



私だけは大丈夫？…

「つい」「ちょっと」の油断が火災を招いています。

放火の疑いを含む火災が前年より増加しています。

建物周囲は整理整頓して、燃えやすいものを置かないことなど、一人一人が気をつけましょう。

救急統計から分析結果



5年前の平成25年救急出動件数から327件の減少となりました。住民の皆様の救急車に対する適正利用によるものと思われます。地域の特性として、ご高齢の方の転倒による骨折事案が多発しています。転倒から身を守るよう日頃から気をつけましょう。

救助統計から分析結果



交通事故での車内閉じ込めによる救助が6割を占めています。また、管内には登山者に人気の登山コースが数か所あり、一部に危険な箇所が存在するため、登山中の滑落や遭難が増えています。登山時は時間に余裕をもち経験者と一緒に楽しみましょう。

違反対象物の公表制度

平成30年4月1日から
公表制度が始まります!



違反対象物の
公表制度とは?

建物や施設を利用する方が、防火安全上、安心して利用できるように、消防が立入検査を行った結果、重大な違反があった場合に、建物の**名称**と**所在地**・**違反の内容**などを京築広域圏消防本部のホームページで公表する制度です。

ホームページは、[京築広域圏消防本部](#)

検索

公表される
建物は?

不特定多数の人が利用する飲食店・スーパー・マーケット・ホテル・病院などで、火災の発生を知らせる**自動火災報知設備**、初期消火のための**屋内消火栓設備**、**スプリンクラー設備**を設置しなければならない建物のうち、いずれかの設備が一切設置されていない建物を公表します。



自動火災報知設備



屋内消火栓設備



スプリンクラー設備

いつ
公表されるの?

消防が違反を確認後、建物の所有者等に対して通知をしてから30日が経過した後も違反が継続されている場合に公表します。

いつまで
公表されるの?

違反の内容が改善され、安全が確認されるまでです。

お問い合わせ先：予防課 指導係 TEL.0979-82-0119



写真左から 前田 洋次郎さん 紀子さん 秀二さん
(平成30年1月5日 消防点検式にて)

前田秀二さんのご家族は、平成29年9月29日深夜、豊前市塔田の用水路に転落し頭部から流血して動くことができなかつた60歳代の女性を救助し、家族の連携による適切な対応で女性を救助し、尊い命を救いました。その功労に対して緒方消防長から感謝状が贈られました。

人命救助表彰

児童防火標語優秀者表彰

黒土小学校
5年 なか
仲 りゅう の すけ
竜之介さん

豊前市内の8小学校の5年生を対象に、186名が参加し、入選作品10篇と優秀作品1篇が選ばされました。

優秀賞に選ばれた仲竜之介さん(写真中央)は、1月5日の消防点検式において、消防長から表彰されました。標語は、今年1年間管内の学校や事業所などに掲示され、火災予防を呼びかけます。受賞おめでとうございます。



標語『ぼくたちのまちを守ろう 火事防止』

春先は、特に空気が乾燥して火災が起こりやすいので、火の取り扱いには十分注意しましょう。



編集後記

消防活動用ドローンは、10年くらい前から本格的に世界の消防署で活用しており、災害対応機能（防水、耐熱、耐火、つり上げ荷重）などの向上も、ほぼ毎月のスピードでさまざまな改善が試みられているとのことです。日本では偵察以外の消防・災害活動用としてあまり機種が入ってきていないためか、導入検討中の消防署が多いようです。ドローンを有効に活用することで、人が行けないような危険な場所での情報収集や、大規模災害時に被害状況を迅速に確認する上でドローンは非常に効果的だと思います。当本部においても導入を検討し、災害に有効活用できるよう考えていきたいと思います。